

# ファンディングエージェント（FA）とURAの対話

ファシリテーター： 高橋 宏（科学技術振興機構）

- パネリスト：
- ・吉野 明（日本学術振興会）
  - ・菅谷 行宏（科学技術振興機構）
  - ・竹下 満（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

## セッション概要

米国にはFAと大学がパートナーとなって競争的資金の運用最適化に取り組む枠組み（FDP）があり、URAは大学の代表として、国レベルでの効率的な研究者支援体制の構築に貢献している。

本セッションでは、米国FDPの根幹である「FAと大学のオープンな対話」の実践を目指す。具体的には、各FAが事例紹介した後（JSPS:研究不正、JST:研究費の適正執行、NEDO:企業が大学に求める姿）、URAが貢献できる事項について会場で討議する。

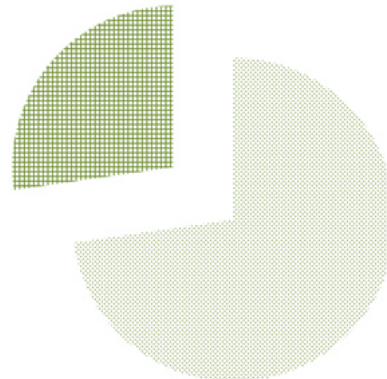
## セッション運営について

本セッションは、一般的な説明会とは異なり、FAとURAの「対話の実践」を主たる目的としています。ご参加いただく際には、「自分の大学ではこのような工夫をしている」など、会場討議における積極的な情報発信をお願いします。

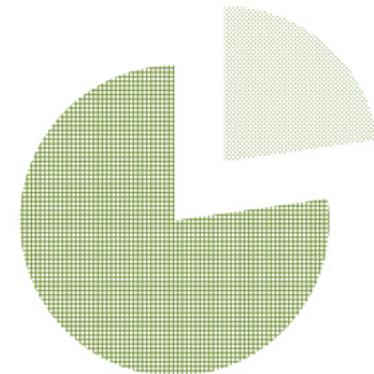
また、自由な対話を実現するため、会場討議での発言は個人的なものとし、後日機関の発言として引用することはご遠慮ください。

## URA実務者の意識調査結果 （第4回RA研究会）

現状



理想



■ a : 資金獲得額重視

■ b : 論文掲載数重視